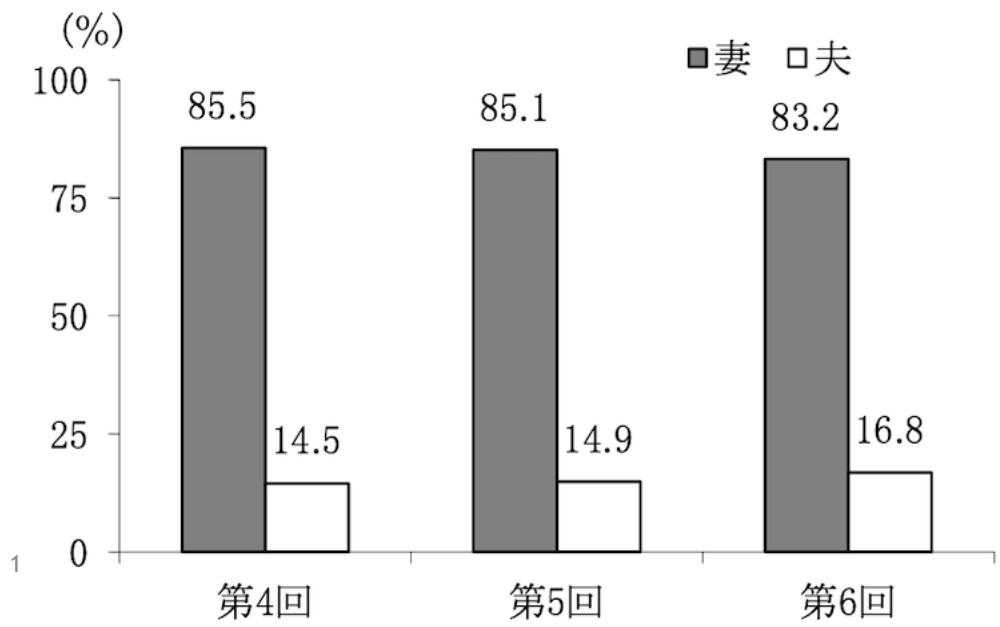


夫の家事分担割合を高める方法 ～ 料理を覚えて幸せになろう～

第6回全国家庭動向調査

図 4-6 調査回別にみた妻と夫の間での家事分担割合の平均



共働き世帯が2/3を占めるようになった現在でも※、夫の家事分担割合率は16.8%と極めて低い状況にあります（※平成30年版男女共同参画白書1-3-4図より筆者計算）。

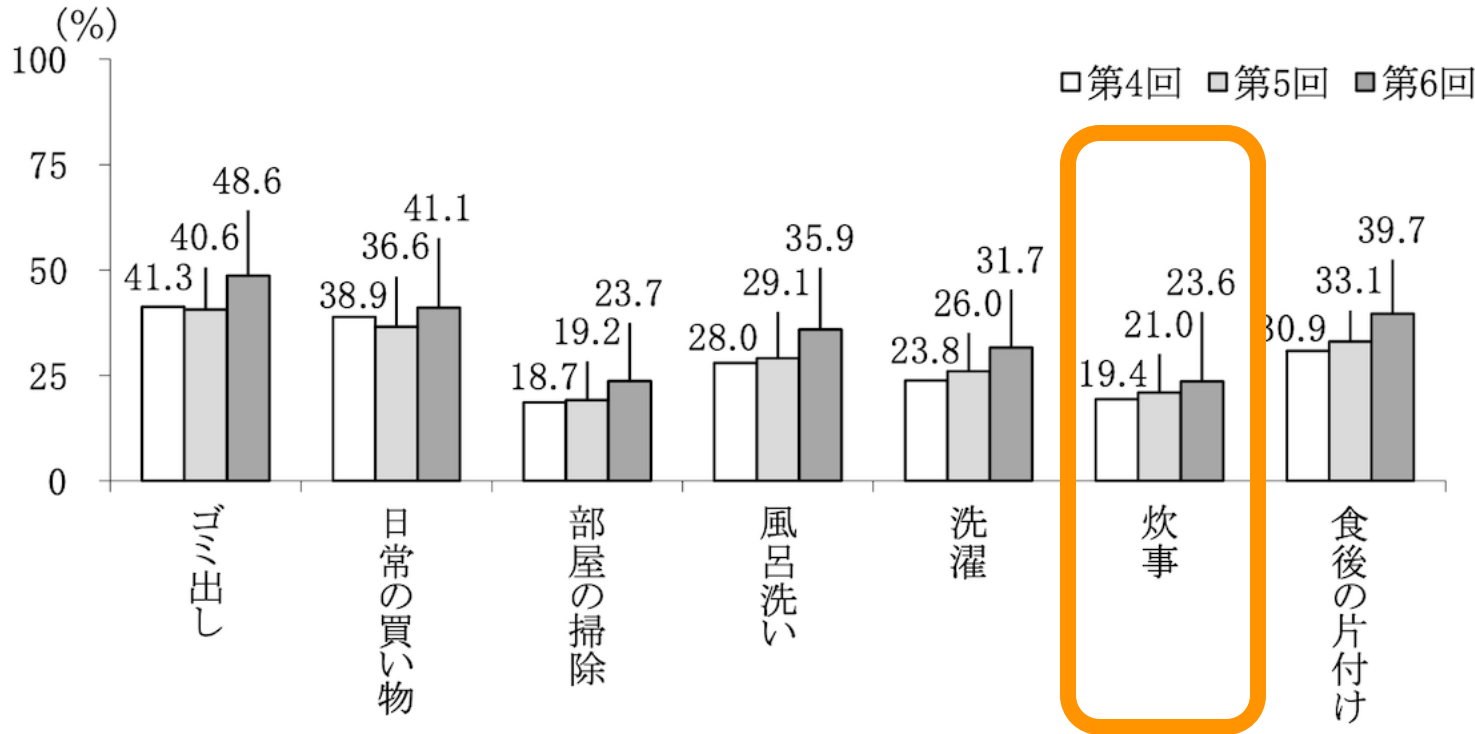
そこで、夫が料理を覚えることにより、家事分担割合を高め、よりよい家庭環境の構築を目指します。

中村治彦

夫の家事遂行割合が最も低いのは料理

第6回全国家庭動向調査

図 4-10 調査回別、家事の種類別にみた週 1~2 回以上家事を遂行した夫の割合



注) 妻の年齢が 60 歳未満であり、すべての家事の種類について回答している世帯について集計。

第6回全国家庭動向調査
によれば、

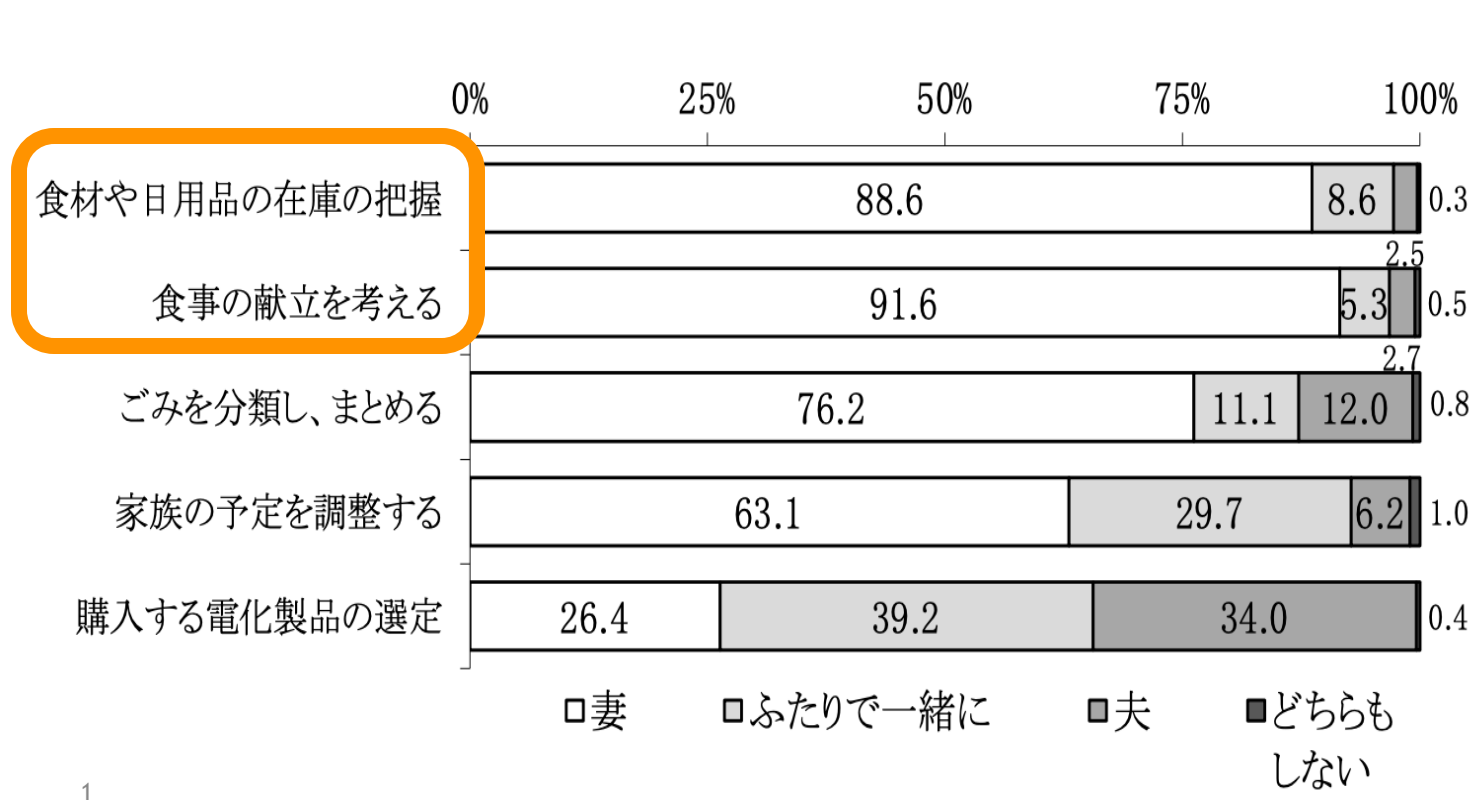
夫の家事遂行割合が最も
低かったのは、

炊事すなわち料理。

「見えない家事」も料理関係は妻がメイン

第6回全国家庭動向調査

図 4-15 夫婦における「見えない家事」の遂行（第6回調査）



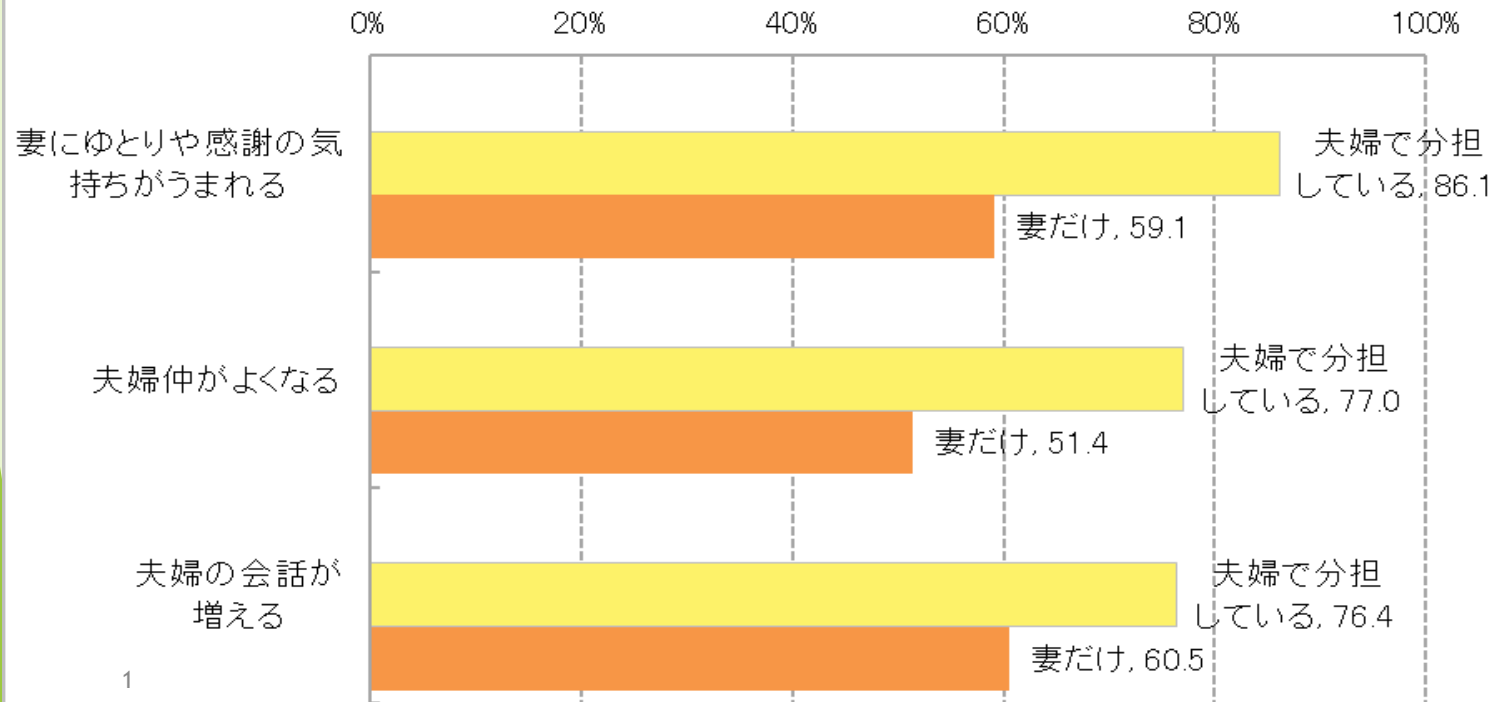
「見えない家事」でも料理に関係する家事遂行は、**妻がメイン。**

こうしたことから、夫の料理分担割合を継続的に高めれば、「見えない家事」の遂行割合も高めることができ、効果が高いと考えられます。

夫が料理をすることで得られるもの

[夫婦の料理シェア] オレンジページくらし予報

[Q]配偶者が「料理」を作ってくれと、以下のような「夫婦関係への影響」があると思いますか？
 (n=1578、夫婦で料理を分担している人、妻だけ料理をしている人)



夫が料理を覚えて、その後も継続的に料理という家事に参加することは、

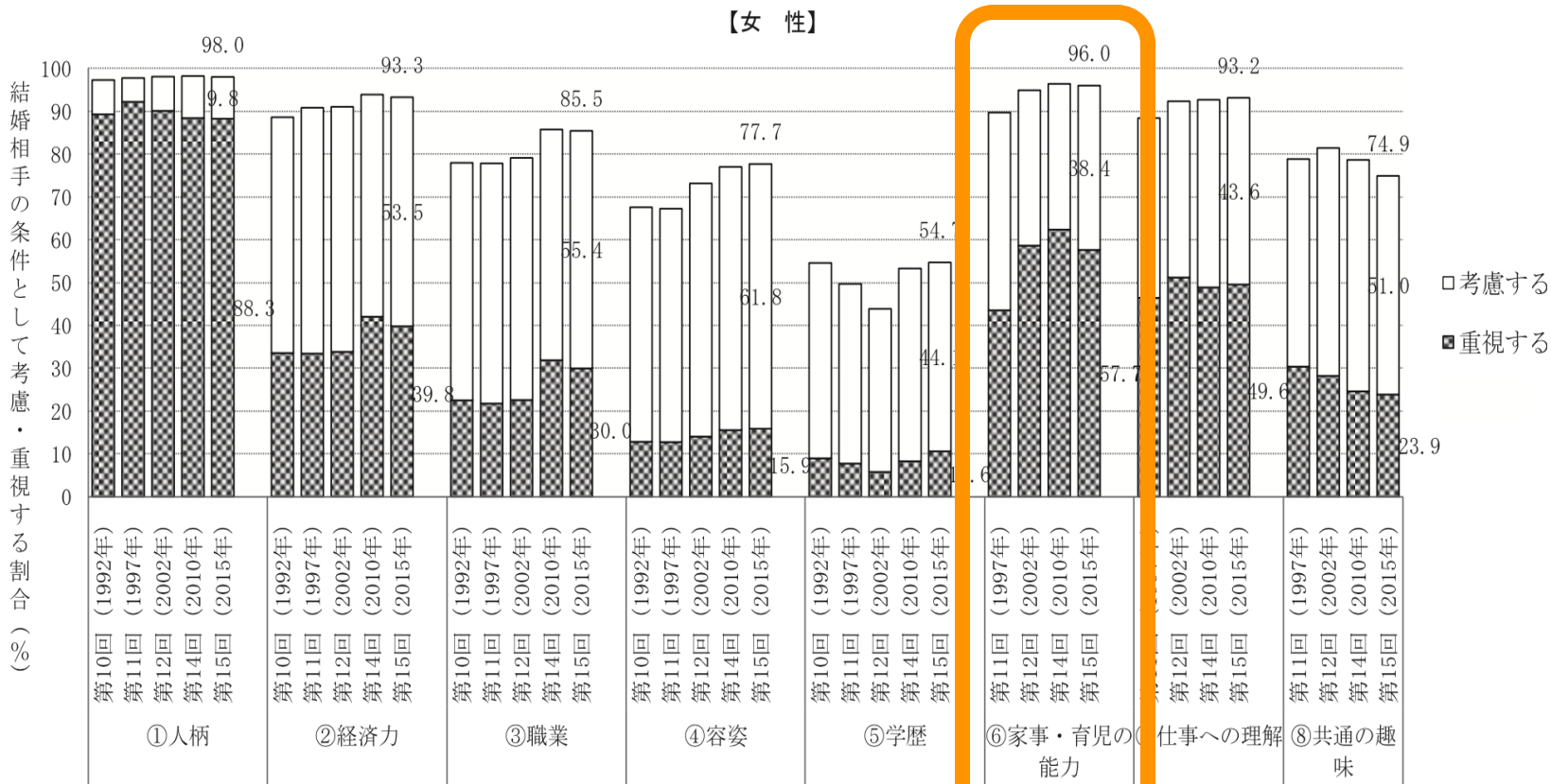
夫婦関係にポジティブな影響を与えます。



分担割合が低いと、料理をするようになった時の効果も大きい？

独身女性も相手の家事能力を重視

第15回出生動向基本調査



注：対象は「いずれ結婚するつもり」と回答した18～34歳未婚者。
設問「あなたは結婚相手を決めるとき、次の①～⑧の項目について、どの程度重視しますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。」(1.重視する、2.考慮する、3.あまり関係ない)。

独身女性が、結婚相手を決めるとき、

「家事・育児の能力」を重視する割合は、「人柄」に次いで**第2位**。

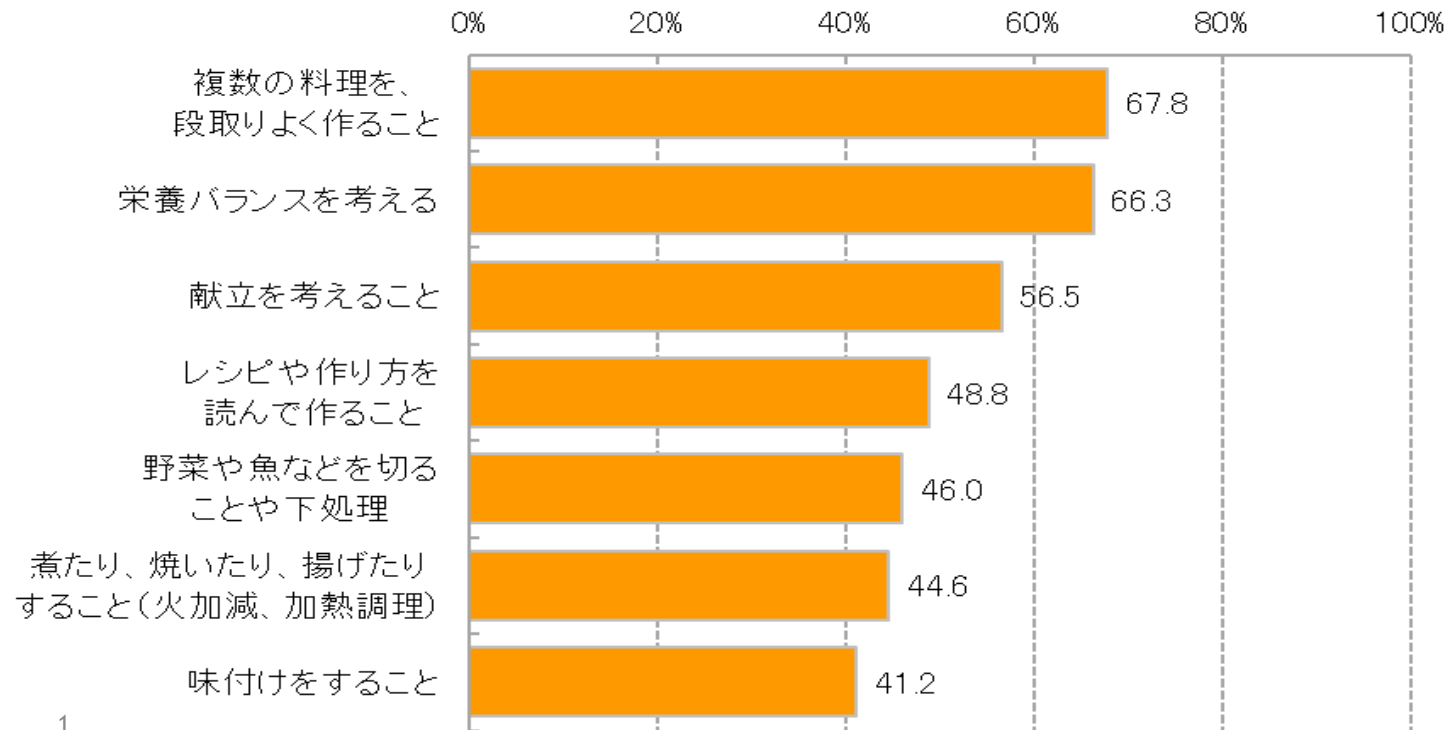


料理を覚えれば、婚活市場でも有利に。

夫が料理を覚える上での、ハードルは何か？

[夫婦の料理シェア] オレンジページくらし予報

妻から見た、「夫が苦手／むずかしい」と思う台所仕事
(n=1608、複数回答)



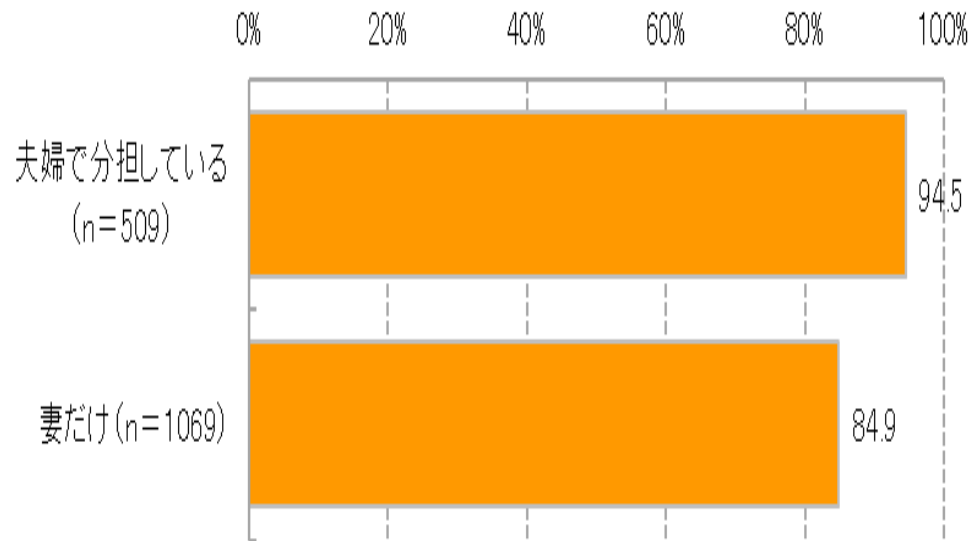
未婚女性からの期待も高いのに、なぜ、現実の夫の料理の分担割合が低いのか。

妻の側では、「**段取り**」「**栄養バランス**」「**献立**」等がハードルだと考えています。

夫が料理を覚える方法、 夫に料理を覚えさせる方法、を考えます

[夫婦の料理シェア] オレンジページくらし予報

料理の分担率で比較した「夫婦仲がよい」と答えた人の割合
(n=1578、夫婦で料理を分担している人、妻だけ料理をしている人)



1

今までの分析を踏まえ、本ワークショップでは
**夫が料理を覚える方法、
夫に料理を覚えさせる方法、
を考えます。**

これは、夫の家事分担割合向上のみならず、夫婦関係にポジティブな影響も期待できる、という点で大変意義のある提案だと考えています。